

村のようす
(7月1日現在)

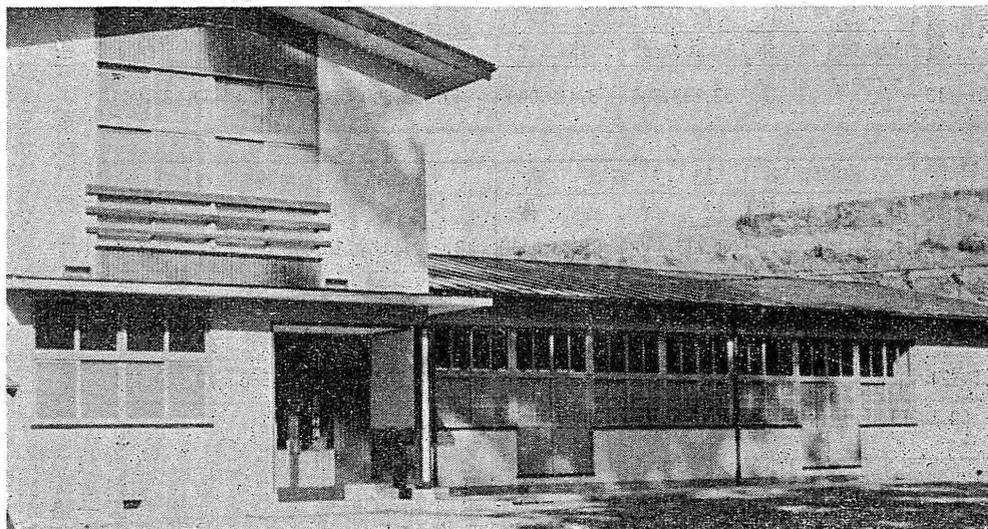
| | |
|-----|-----------------------|
| 世帯数 | 1,437戸 |
| 人口 | 7,890人 |
| 男子 | 3,855人 |
| 女子 | 4,035人 |
| 面積 | 46.65 Km ² |



たまがわ 広報

編集と発行
福島県石川郡玉川村役場
丹内栄一
でんわ 川辺 1・39・124

印刷所
須賀川市加治町69
有限会社 円谷印刷



須釜児童館開設

玉川村立須釜児童館は、北須釜字堀ノ内に、工費6,253,000円で、木造平屋建1部2階建外部モルタル仕上、延面積396平方米(120坪)敷地8,118平方米(246坪)で昨年10月に着工、本年1月に完成しました。

児童館は、小地域を対象として、児童に健全な遊びを与え、幼児または、少年を個別的及び集団的に指導して、児童の健康を増進し、情操をゆたかにするとともに、子供会、母親クラブ等の地域組織活動の育成増長をはかる等、児童の健全育成に関する機能を有するものとされています。

須釜児童館は、この趣旨の達成をはかるため児童福祉法に基づく児童厚生施設として、去る4月1日開設し、更らに5月2日から就学前の児童の生活指導を開始したところ、定員を超える52名の入所申込があった

ことは、父兄が子供の育成について、いかに関心をよせられているかを示されたものであり、まことに喜ばしいことと思えます。

須釜児童館は、館長(助役兼任)のほか専任の児童厚生員と助手で運営に当り、又館長の諮問機関として児童館運営協議会を設置している。

児童の生活指導は、入所児童52名について、毎日午前8時30分から午後3時まで、お話し、リズム音楽(うた、楽器、遊戯など)図画、工作、絵本の観察、指人形、紙芝居、ゲーム遊び、自由遊び、生活発表(家庭のできごとなどを一人一人発表する)その他の生活指導を行っており、児童たちは毎日元気にすくすくと生長している。

八月のこよみ

- | | |
|-----|----------------|
| 二日 | 石川管内町村職員卓球大会 |
| 一日 | 野球大会 |
| 二六日 | 選挙人名簿の従覧 |
| 九日 | |
| 九日 | 住民課 |
| 一〇日 | 百、デフテリヤ予防接種 |
| 一日 | 戸籍事務の月例研究会 |
| 二六日 | 母子健康センター助産婦研修会 |
| | 税務課 |
| 一〇日 | 家屋調査実施 |
| 二四日 | |
| 二五日 | 村民税、保険税納期 |
| | 産業課 |
| 一日 | 地籍調査標示票配布 |
| 二〇日 | 農業委員会 |
| | 建設課 |
| 下旬 | 公営住宅建設入札 |
| | 教育委員会(公民館) |
| 三日 | 青年学級(料理) |
| 一〇日 | 青年学級(測量) |
| 二〇日 | 体育指導委員会 |
| 中旬 | 教育委員会 |
| 一七日 | 青年学級(畜産) |
| 二四日 | 青年学級(生活改善) |
| 三一日 | 青年学校 |
| | (移動教室岩農校) |

学校統合問題について

・村民関心の西部地区小学校統合問題の話しあいが進められ、前・進しつづありまます。すでにご承知のとおり、本村立の小学校は、老朽危険校舎のため、このまま放置できない現状であります。

・そこで、これからの学校の姿、教育の振興学力の向上、更に経済的等あらゆる面から検討して、この際西部地区にある、川辺小学校、小高小学校、竜崎分校の三校を統合しようとする、数年前からの議論でした。そこで村当局でもその方針をかため、今年度始めより関係部落座談会を開いて統合についての説明会を開催し親しく懇談した結果、川辺部落を除いた各部落は統合に賛成、早期実現すべきだとの強い意見が圧倒的に多く、川辺部落も統合の趣旨には賛成の声が多かった。

しかしその後早速川辺部落に「川辺小学校を守る会」が結成され現在の川辺小学校を守ろうとする動きがはじまり、川辺部落大半の署名を取ったとも言われている。

その間村議会及び村教育委員会では何回もこの統合問題について討議され、統合を促進しようの線が強く打ち出され、村議員、教育委員、村内各区分長、各PTA会長、各種団体長、西部地区、各区推

統合と改築の建物建築費比較

| 統 合 | 学校名 | 生徒数 42.4.1 推定 | 学級数 | 必要基準面積 | | 建 築 費 | | 建築費計 | 国庫補助金 (補助率1/2) | 村負担分 (1/2) |
|-----|-----------------------|---------------------|-----|------------------|----------------|------------|-----------|------------|-------------------|---------------|
| | | | | 校舎 | 屋体 | 校舎(鉄筋) | 屋体(鉄骨) | | | |
| 合 | 小高小学校 川辺分校 竜崎分校 | 561 | 13 | 2,098㎡ (635坪) | 450㎡ (136坪) | 52,133,500 | 8,432,000 | 60,565,500 | 30,282,750 | 30,282,750 |

| 改 築 | 学校名 | 生徒数 42.4.1 推定 | 学級数 | 必要基準面積 | | 建 築 費 | | 計 | 国庫補助金 補助率 1/3 | 村負担分 2/3 |
|-----|---------------|---------------------|-----|------------------|----------------|------------|------------|-------------|------------------|-------------|
| | | | | 校舎 | 屋体 | 校舎 | 屋体 | | | |
| 築 | 小高小学校 | 348人 | 11 | 1,699㎡ (484坪) | 450㎡ (136坪) | 39,736,400 | 8,500,000 | 48,236,400 | 16,078,800 | 32,157,600 |
| | 小高小学校 竜崎分校 | 81 | 4 | 702 (215) | 296 (90) | 17,651,500 | 5,625,000 | 23,276,500 | 7,425,500 | 15,851,000 |
| | 川辺小学校 | 132 | 6 | 1,069 (323) | 359 (109) | 26,518,300 | 6,812,500 | 33,330,800 | 11,110,266 | 22,220,534 |
| | 計 | 561 | 21 | 3,470 (1,022) | 1,105 (335) | 83,906,200 | 20,937,500 | 104,843,700 | 34,614,566 | 70,229,134 |

校舎坪単価 82,100円 屋体坪単価 62,000円 41年度文部省単価

| 選挙選任の別 | 選挙選任の別 | 委員氏名 | 新旧別 | 部須別 |
|--------|--------|-------|-----|-----|
| 選任(農協) | 選任(農協) | 関根正之 | 新 | 北須釜 |
| 選任(農協) | 選任(農協) | 真野目照治 | 新 | 山新田 |
| 選任(農協) | 選任(農協) | 須田庄助 | 新 | 北須釜 |
| 選任(農協) | 選任(農協) | 宗形 斌 | 再 | 南須釜 |
| 選任(農協) | 選任(農協) | 大和田重正 | 再 | 川 吉 |
| 選任(農協) | 選任(農協) | 坂本 佐市 | 再 | 川 吉 |
| 選任(農協) | 選任(農協) | 須釜 龜松 | 再 | 川 吉 |
| 選任(農協) | 選任(農協) | 矢吹源三 | 再 | 岩法寺 |
| 選任(農協) | 選任(農協) | 高林浅太郎 | 再 | 小 中 |
| 選任(農協) | 選任(農協) | 関根 誠 | 再 | 南須釜 |
| 選任(農協) | 選任(農協) | 阿部 隆吉 | 再 | 南須釜 |
| 選任(農協) | 選任(農協) | 小林隆次 | 再 | 岩法寺 |
| 選任(農協) | 選任(農協) | 大竹代次 | 再 | 岩法寺 |
| 選任(農協) | 選任(農協) | 車田直重 | 再 | 北須釜 |
| 選任(農協) | 選任(農協) | 我妻 喜一 | 再 | 南須釜 |
| 選任(農協) | 選任(農協) | 丹原 忠治 | 再 | 川 吉 |
| 選任(農協) | 選任(農協) | 小原 忠治 | 再 | 南須釜 |

農業委員会委員きまる

任期満了による農業委員会委員の選挙が七月十五日執行され、委員の活躍を期待する。

台風四号大きな被害

王城橋が流失

六月二十八日の台風四号で本村内でも一二七耗の雨量が記録され、各河川は危険水域を越え、農作物及土木施設に大きな被害を受けた。特に阿武隈川のはんら

川辺に出向き、話し合の場を持つ交渉を行っているが、それに応じる気色がないまま、第二回目の統合問題協議会が四月二十二日開かれ、協議会長に小原忠治氏、副会長に矢吹幸

夫氏、常任委員十二名を互選した後、統合促進を再確認、敷地を早く決定すべきだとの強い意見も出た程だった。結局、敷地の検討は後にすることにして、常任委員で川辺部落民と話し合う機会を持つことになり統合問題も実現の方向へ一歩ずつ前進しております。次に参考までに川辺

小高、竜崎の三校統合と、同三校改築の場合に要する建築費、校舎屋体について比較してみますと別表のとおりです。この表でわかるように、三校統合と三校それぞれ改築の場合の建築費を比較してみると村負担分の経費で円だけ少なくてすむわけです。



旧堤防流失の状況 (昭41. 6. 29朝)

| 部落名 | 被害ha | 本領粉砕交付 |
|-----|------|--------|
| 川 辺 | 三二七 | 七袋 |
| 小 高 | 一七〇 | 七〇 |
| 中 | 一六 | 七〇 |
| 岩法寺 | 二一 | 一八 |
| 竜崎 | 二五 | 二〇 |
| 南須釜 | 二二 | 三〇 |
| 北須釜 | 四 | 三三 |
| 吉 | 一 | 三三 |
| 山小屋 | 一 | 三三 |
| 四社 | 一 | 三三 |
| 開拓 | 一 | 三三 |
| 計 | 五五〇 | 一九〇 |

農作物の被害は別表のとおりだがこれに対し村は対策本部を設け特に水稲の冠水田には薬剤の無償交付を行い病害の発生を防止することに努めた。水稲被害面積及び薬剤の交付量は次のとおり。

尚飯橋は入札により湯沢組が実施する事になり九月末日迄には出来上る予定。其の外村内の公共施設は道路の大きく被災した箇所四箇所について復旧計画を進めている。

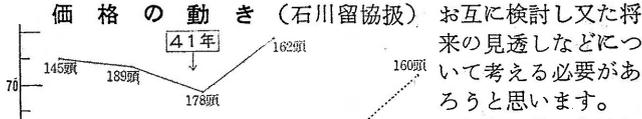
農作物被害

| 種 別 | 被害面積 | 被害程度 | 被害額 |
|-------|------|-------|-------|
| 水 稻 | 六一 | 30%以下 | 二、四二六 |
| 小 麦 | 三三 | 30%以上 | 一、二〇〇 |
| 馬 鈴 薯 | 三二 | | 三六三 |
| たばこ | 一七 | | 一、〇七六 |
| いんげん | 一五 | | 二七〇 |
| ピーズ | 二五 | | 一、二七〇 |
| 合 計 | 一四一 | | 七、五二〇 |

被害額は千円単位

農 事 メ モ

◆和牛(仔牛)セリ値について 本年7月石川セリにおいて平均76千円の高値を示したがこれについては高値の原因等を

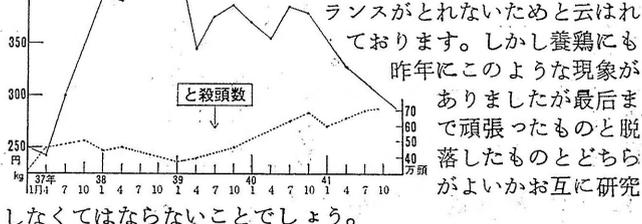


価格の動き(石川留協抜) お互に検討し又た将来の見透しなどについて考える必要があると思います。価格上昇は勿論飼育頭数の減少に伴って牛肉の不足によるものですが国においても肉用牛の増殖を

計るため基本方針を定められました。その施策の主なもの、繁殖育成センター、寒冷地貸付事業、繁殖及び肉用畜導入事業、緊急飼料増産対策事業等で村においてもこれらのことについて施策を検討中ですので皆様の協力をお願いします。

◆豚肉下落対策 現在の状況について申しますと石川郡では本村は石川町に次いで仔豚の生産が多くなっており。本年1月から6月までの仔豚の販売頭数は

| | | | | | |
|----|--------|----|--------|----|------|
| 石川 | 2,874頭 | 玉川 | 2,606頭 | 古殿 | 501頭 |
| 浅川 | 486頭 | 大東 | 413頭 | 平田 | 330頭 |



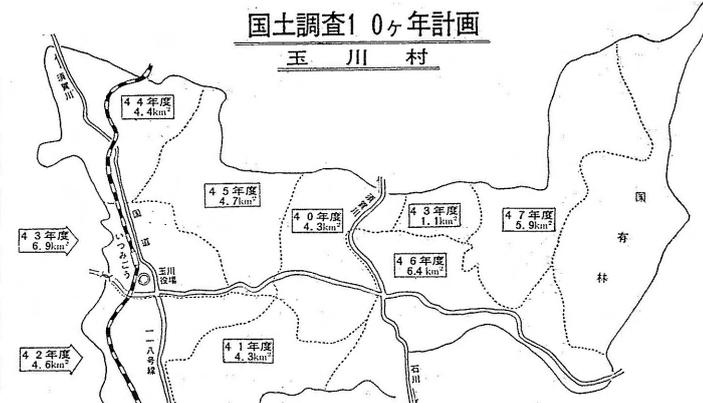
豚肉価格とと殺頭数 おります。本年豚肉の安値の原因は3~4割出回りが多いの消費は20%増しただけで需給のアンバランスがとれないためと云はれております。しかし養鶏にも昨年このような現象がありました。昨年同様張ったものと脱落したものとどちらがよいかお互に研究

◆天保以来の米の価格 県農業会議で調査した天保時代からの米の価格がありますが非常に参考になるものなので抜萃して見ました。(1石当り 単位厘)

| | | | |
|-------|---------|-------|-------------|
| 天保元年 | 74.4 | 昭和2年 | 33.85.0 |
| 安政元年 | 98.9 | 〃 10年 | 31.95.0 |
| 慶応元年 | 3.55.8 | 〃 19年 | 46.72.0 |
| 明治元年 | 4.32.0 | 〃 22年 | 1,750.00.0 |
| 〃 10年 | 3.36.0 | 〃 25年 | 5,529.00.0 |
| 〃 20年 | 3.70.0 | 〃 35年 | 10,405.00.0 |
| 〃 30年 | 14.30.0 | 〃 40年 | 16,375.00.0 |
| 〃 40年 | 14.30.0 | 〃 41年 | 17,877.00.0 |
| 大正10年 | 35.50.0 | | |

◆期待できるウメづくり 最近梅の需要が増加して来ました。その用途は梅酒、チュインガム、梅干等の面に使用が増えて来たことにあります。梅の開花期は降霜低温にあう比率が多く結果しない心配がありますが、晩生種を栽培すれば安全度は高いわけですが。価格は数年高値つづきで農家の関心の的となっておりますが、10年の盛りで1,600kg~2,000kg(10a当り)の収量です。肥料代その他を合せて諸経費55千円を差し引いても105千円の収益となります。在来種では値段が安く白加賀が有望でしょう。栽培は5.4m~7.2m間隔が適当です。手入についてはモモ等に準じてよいでしょう。

八・九月の天気予報 気温 八月は平均で平年並みかいくらか高め。月のはじめと後半は一時低めで九月前半は一時残暑気味の日があるが後半は涼しくなり月平均では平年並みの見込み。降水量 八月は大体夏型の天候でやむ変動が大きく。日本に影響する台風は二、三個位で雨量は平年並み。九月は月始めは夏型の天候が多く月半ばから秋雨の降り易く雨量月平均では少なめの傾向で台風は一個位の見込み。



一、一筆地調査より一 昭和四十一年度の地籍調査事業実施地域は次のとおりとなっております。地域土地所有者並びに同土地管理者は本事業推進のため特段の御協力を下さるよう御願いたします。

- 第一年度 筆地測量までの地区
 - 計画区 堂平地区
 - 実施面積 四、〇平方キロ(約四〇〇町歩)
 - 実施字 川辺部落
 - 堂平、金波、山森田、武道、久保田 五字
 - 吉部
 - 五畝刈、遠下、中平、樋場、天玉前、沢向、滑津、嫁田、南作、古金塚、馬場下、下倉沢、中ノ作、西ノ内 十四字
 - 計画区 和尚平地区
 - 実施面積 〇、三平方キロ(約三〇町歩)
 - 川辺部落
 - 和尚平、館
 - 簿作成までの地区
- 第二年度
 - 計画区 蟹沢地区
 - 実施面積 四、三平方キロ(約四三〇町歩)
 - 実施字 南須釜部落
 - 中興平、堂ノ内、西ヶ作、高屋敷、竹ノ内、松畑、蟹沢、丸ノ内、中窪、作田、長内、苑ノ田、行人塚 十三字
 - 北須釜部落
 - 池ノ作、小泉、宝司頭、
 - 東ノ内、総身内、中ノ内、仏供田、中屋敷、車田、山田、雀森、宮田、東関、接簿、竹ノ花、追分、堅木石森殿、堀ノ内、半身田、三蔵、近館石、吹上 二十三字
 - 吉部
 - 神戸、山ノ神、上ノ入、池ノ上、荒田、上ノ前、杉内、中下、畑中、宮作、境田、宮ノ前 十二字

村営住宅の建設始る 一世帯一住宅とは良く聞く言葉であり政府の方針であります。昭和四十一年度に於て本村も公営住宅を建てる計画を進めて参りましたが一〇戸の公営住宅建設が正式に認められ大字竜崎字藤岡地内に

建設すべく敷地造成に取りかかり八月中に住宅の入札を行い十一月竣功の目標を進めて居ります。建築は一戸三十一、四平方メートル(一〇五坪)で第二種公営住宅です。敷地は池の近くであり

良い処です。ので入居については今から心掛けたいと思います。 世話になった小学校に、役に立つものを寄附したいの考えから大字小高出身で現在白河市で木工場を営んでいる、東京ワイヤール工所社長車田八郎氏はこの程小高小学校に鉄骨造りの堂々たる国旗掲揚塔を寄附し、父兄に児童達から感謝されています。このご厚意に対して村及び教育委員会では同氏に感謝状を送りました。

四・六米づくり運動 県の四・六米づくり運動に即応して米作農家の自主的生産活動を活発にするため役場を中心に各種団体を結集し四割増収六割省力の計画のもと十年後には一〇アール当り一〇俵を目標とするものでこれが実現のためには水田の基盤整備、近代化集団栽培、地力の保全対策、病虫害の防除対策並に技術的推進等総合的に計画して推進することになっておりますので農家の皆さまの特段の御協力をお願いします。

思い出の母校に 国旗掲揚塔の寄附

本年産米の部落別集荷予定決る

本年産米の集荷予定数量を部落別に割当ていたしましたのでお協力下さい。

| 部落名 | 集荷予定数量 | |
|-----|--------|--------|
| | 最低数量 | 努力目標 |
| 川辺 | 4,925 | 5,417 |
| 藤生 | 555 | 610 |
| 小高 | 2,521 | 2,774 |
| 中 | 2,002 | 2,202 |
| 岩法寺 | 1,620 | 1,782 |
| 竜崎 | 2,377 | 2,615 |
| 小計 | 14,000 | 15,400 |
| 南須釜 | 1,967 | 2,164 |
| 北須釜 | 1,694 | 1,863 |
| 吉 | 969 | 1,066 |
| 山小屋 | 640 | 704 |
| 四辻 | 330 | 363 |
| 小計 | 5,600 | 6,160 |

7月20日現在の予約数量
泉村農協 14,333俵
須釜農協 5,742俵

◎41年産米政府買入価格

今年の米価については150kg(石当り)17,877円と決定されましたが等級時期別格差等は下記のとおりとなりました。

時期別格差 (1俵当り)

| | |
|----------|------|
| 9月30日まで | 400円 |
| 10月10日まで | 160円 |
| 10月20日まで | 80円 |

等級差 (3等基準)

| | |
|-------|---------------|
| 1等(+) | 160円 |
| 2等(+) | 80円 |
| 3等(-) | 7,150円(包装代込み) |
| 4等(-) | 80円 |
| 5等(-) | 280円 |

モチ米加算

| | | |
|----|------|------|
| 水稲 | 1~2等 | 560円 |
| | 3等 | 530円 |
| | 4~5等 | 500円 |
| 陸稲 | 1~5等 | 275円 |

包装代

| | | | |
|-----|-------|----|------|
| 二重 | 161円 | 複式 | 133円 |
| かます | 111円 | 麻袋 | 156円 |
| 紙袋 | 30kg入 | | 64円 |

なお陸稲はこの価格を基準として1俵240円を差引くことになっております。

がや、病気のときにもらう年金も六万円(月五千元)に。
◎お母さんと子どもだけの家庭でもらう年金が六万円(月五千元)

りました。これはきわめて当然なことです。四十二年一月分からは三十五才以上の人は月二百五十円に三十五才未満の人は月二

- 委員長 草野ユキエ (南須釜)
- 副会長 真野和子 (南須釜)
- 矢吹光江 (北須釜)
- 関根マサヨ (北須釜)
- 大木アサ子 (南須釜)
- 阿部ヨシエ (山小屋)
- 石森チエ (南須釜)
- 有賀ハナ (北須釜)
- 鈴木ユク (北須釜)



◎こんど国民年金が改正になりました。
◎もらえる金があがり約二、五倍中味が豊かになってきました。
◎としをとってからもらう年金が、六万円(月五千元)に。け

◎また納める金もすこし多く(約二倍)な

百円になります。◎国民年金は老令、廃疾、死亡による生活の苦しみを防ぐためにもうけられた制度です。

◎あなたは国民年金に加入するのを忘れていませんか。もし忘れておられますと国民年金の仲間からはずれることになってしまいます。そうなるは大変です、入り忘れておられるひとは、すぐ役場へ手続きして下さい。

ゆりかごから墓場まで

あなたは年金制度に入っていますか

母親クラブ誕生

須釜児童館で生活指導を受けている、児童の保護者で結成された母親クラブは、七夕祭りに総会を開き、会則などを承諾した後、役員を次のとおり選任した。

- 北須釜 北須釜 女
- 南須釜 阿部公平 男
- 竜崎 小林竜也 女
- 岩法寺 佐久間福男 女
- 小高 車田美奈子 女
- 川辺 石井美紀 女
- 坂本清美 女
- 佐田美奈子 女
- 次夫三 女
- 三孫 孫
- 北須釜 矢吹清信 女
- 南須釜 塩沢千恵子 女
- 岩法寺 渡辺洋子 女
- 小高 石井浩和 女
- 川辺 利五郎 女

俳句

ありすぎるころのひまの風鈴鳴る
雨の蝶飛べる高さや牡丹の碑
ひたひたと雨に夢もつ花たばこ
花たばこ阿武隈緑りをたのしくす
燕飛ぶはるかに煙りたつる山

栖 泉

お誕生おめでとう

ごさいます (六月分の出生届書から)

| | |
|----|-------------|
| 監事 | 瀬谷タツ (南須釜) |
| | 塩沢トシ子 (南須釜) |
| | 矢吹節子 (山小屋) |

出生児氏名 世帯主名 続柄

| | | | |
|-----|-------|-----|------|
| 川辺 | 石井美紀 | 健吉 | 孫 |
| 坂本 | 清美 | 佐田 | 義三 |
| 佐田 | 美奈子 | 次夫 | 三 |
| 三孫 | 孫 | | |
| 北須釜 | 矢吹清信 | 吉之助 | おの二男 |
| 南須釜 | 塩沢マツヨ | 久松 | 女 |
| 岩法寺 | 小林竜也 | 武良 | 政三 |
| 小高 | 佐久間福男 | 金三 | 孫 |
| 川辺 | 石井美紀 | 健吉 | 孫 |
| 坂本 | 清美 | 佐田 | 義三 |
| 佐田 | 美奈子 | 次夫 | 三 |
| 三孫 | 孫 | | |

ご逝去お悔み申し上げます

(六月分の死亡届書から)

| | | | |
|----|------|----|----|
| 川辺 | 須藤マサ | 金重 | 祖母 |
| 中 | 小林ミヤ | 富重 | 祖母 |
| 吉 | 小針タツ | 孝一 | 祖母 |
| | 有賀一美 | 嘉一 | 孫 |

先月の日誌より

七月

ホタルとびかよう気節であるが、近年農業の散布により数も少く昔の夏の風情を思出している人々も多いかと思えますが、暑い日々が続きますので、お互に健康に注意して下さい。

八月は立秋、一五日は終戦記念日です。私たちは異国の地で散った同胞達のめい福を祈り、二度と戦争をくりかさないよう亡き英霊に誓いましょう。

公報の発行がおくれて申し訳ありません、深くおわび申し上げます。編集委員一同心機一転頑張りますので、よろしく御願いたします。

水難事故をなくしましょう

| | |
|------|-----------|
| 六・六 | 農業委員会 |
| 六・七 | 経済土木委員会 |
| 六・八 | 文教厚生委員会 |
| 六・九 | 国保運営委員会 |
| 六・一〇 | 村議会第二回定例会 |
| 六・一一 | 総務委員会 |
| 六・一二 | 消防団幹部会 |
| 六・一三 | 農業委員会 |
| 六・一四 | 水難事故防止委員会 |

